

令和二年九月十九日（土）午前九時十五分始

福岡市中央区大濠公園一十五

於 大濠公園能楽堂

電話 〇九二（七一五）二一五五番

代替公演（五月十日）

# 初陽会

主催

武田宗和  
武田宗和  
初陽会

電話 〇三（三三五九）二七八三番

御来場歓迎  
入場無料

※ご入場には本番組をご持参ください

※ご入場時検温・マスク着用等、感染防止対策にご協力戴きます

※開演中の写真撮影・録音等は固くお断り申し上げます

番組

連吟

巴

長崎県建築士会長崎支部

平野啓子  
山口秀子  
後藤美香  
中村啓子

素謡

江

口

ツレ武田祥照

シテ玉井美登利

ワキ武田文志

地謡

多島法子  
鷹尾維教  
武田宗和  
武田友志

東

北

シテ井久保千代子

ワキ武田宗典

地謡

木月晶子  
鷹尾章弘  
松木千俊  
佐川勝貴

野

宮

シテ瀬来玲子

ワキ武田友志

地謡

多島法子  
武田文志  
武田宗典  
山中雅志

俊

寛

成経今村一夫  
康頼鷹尾章弘

シテ廣田睦子

ワキ山本章弘

地謡

武田祥照  
武田尚浩  
武田宗和  
鷹尾維教

砧

ツレ武田宗典

シテ中原伯子

ワキ武田志房

地謡

山中雅志  
松木千俊  
武田宗和  
佐川勝貴

松

風

ツレ木月晶子

シテ平野敦子

ワキ武田尚浩

地謡

今村一夫  
山本章弘  
藤井完治  
武田宗典

独吟

高

砂

駕淵幸子

仕舞

女郎花

後藤美香

地謡

木月晶子  
今村一夫  
武田宗典  
山中雅志

(十二時半頃)

番囃子

ツレ多久島法子

シテ岩本美智子

筐

ワキ武田宗和  
マツシレ武田祥照

大鼓 白坂保行  
小鼓 鵜澤洋太郎

笛 八反田智子

花

地謡

武田宗典  
鷹尾維房  
武田志俊  
松木千俊  
武田友志

素謡

ツレ佐川勝貴

恋重荷

シテ篠田いつ子

ワキ藤井完治

地謡

武田文和  
武田宗房  
武田志弘  
山本章

ツレ山中雅志

山

姥

シテ瀬尾律子

ワキ松木千俊

地謡

武田祥照  
鷹尾維教  
武田宗和  
武田友志

(二時十分頃)

能

シテ石川るみ子

輪

ワキ江崎欽次朗

大鼓 白坂保行  
小鼓 鵜澤洋太郎

大鼓 田中達  
笛 八反田智子

三

間 野村万禄

後見 武田宗典  
武田尚浩

地謡

今村一夫  
山本章弘  
武田志房  
藤田完治  
鷹尾章弘

素謡

法皇鷹尾維教

内侍木月晶子

局多久島法子

### 大原御幸

シテ八坂京子

ワキ武田宗和

地謡

武田宗典  
武田尚房  
武田浩照

舞囃子

### 頼政

瀬尾律子

大鼓白坂保行  
小鼓鵜澤洋太郎

大鼓白坂保行  
小鼓鵜澤洋太郎

笛

八反田智子

地謡

山中雅志  
松木千俊  
武田宗和  
鷹尾章弘

### 西行桜

篠田いつ子

大鼓白坂保行  
小鼓鵜澤洋太郎

大鼓

田中智子

地謡

佐川勝貴  
武田尚浩  
武田宗和  
山本章弘

番外

仕舞

### 采女

キリ

武田宗典

地謡

武田祥照  
武田文志  
武田友志  
佐川勝貴

舞囃子

祝言

### 岩船

武田宗和

大鼓白坂保行  
小鼓鵜澤洋太郎

大鼓

田中智子

地謡

今村一夫  
鷹尾章弘  
藤井完治  
武田文志

(終了予定 午後五時)

※左記の通り素謡の一部を省略させて頂きます

江 口 ワキ名ノリ・道行、及ビクリ・サシ・クセ

東 北 ワキ名ノリ・道行、及ビクリ・サシ・クセ

野 宮 ワキサシ・下歌、及ビ初同アトロンギへ

俊 寛 ツレサシ、二人が果にて候なりノアトシテノ出へ  
及ビ飲むからに

砧 ツレ道行、三年の秋の、古里のヨリ省キ、文月七日のへ  
及ビ聲も枯野の

松 風 ワキへあら嬉しやヨリ省キシテノ出へ

へ影恥かしき、及ビ戀草の・クセ

花 筐 へ君と住む、こがれ行く、及ビ

へ叫び伏して泣き居たりアトワキへ宣旨にてあるぞへ

恋 重 荷 ワキへいかに誰かあるヨリ省キへいかに莊司へ

山 姥 ワキ名ノリ・サシ・道行、及ビクリ・サシ・クセ

大原御幸 シテノ出ヨリ始メへ古りにけるヨリ省キ、後シテノ出へ

へ一念の窓の前、及ビ法皇へ先つ頃ヨリ省キへ實にありがたきへ